

特別活動全体計画

校長名 落合 由美子

学校の 教育目標	○都および区教育目標に基づき、児童一人一人を大切にし、知性・感性・道徳心と体力をばくぐむとともに、地球を愛し、社会に主体的に貢献しようとする人間性豊かな児童の育成を目指す。 ○地域と連携共済・協調しながら児童の健全育成に努め、安心と信頼のある学校を目指すとともに、児童一人一人の個性と創造力を伸ばし、思考力・判断力・表現力などの資質と能力をばくぐむ教育を推進する。
特別活動の 目標	集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質・能力を育成することを目指す。
目指す 子供像	・知力の充実した子 ・忍耐力、集中力、強い意志力、実践力をもった子 ・体力、気力の充実した子（連帯感、協調性、共感の心、思いやり、やさしさ、社会性等）
特別活動の 重点目標	・児童会が主体となって実践される行事を通して、児童の自発的・自立的な精神を育成する。 ・環境に関する活動を充実させ、ものを大切にする心や、自然と人々が調和しながら生活する態度の育成を図る。

	学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事
目標	学級活動を通して、集団活動に進んで参画したり、よりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、自己の課題解決及び将来の生き方を描くために意思決定したりする資質・能力を育てる。	児童会活動を通して、学校生活の充実と向上を図るための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したりする資質・能力を育てる。また、多様な他者との互いのよさを生かして協働し、よりよい学校生活をつくらうとする態度を養う。	クラブ活動を通して、共通の興味・関心をもち、活動を楽しむ意欲につながるための課題を解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したりする資質・能力を育てる。また、協力で目標を達成しようとし、自分のよさや可能性を今後生かそうとしたりする態度を養う。	学校行事を通して、学校生活の充実を図り、人間関係をよりよく形成するための目標や課題を設定して、大きな集団による集団活動や体験的な活動に協力して取り組む資質・能力を育てる。また、多様な他者と尊重し合いながら協働し、公共の精神を養い、よりよい生活をつくらうとする態度を養う。
指導の方針	(1)学級や学校における生活づくりへの参画 集団の中での成長を見つめ、児童の実態を的確に把握し、互いに自己有能感を高めさせたりする。 (2)日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全。児童にとって身近な問題から、自分自身の問題として受け止めるようになり、振り返りから次の取組みへの意欲につながりたりする。 (3)一人一人のキャリア形成と自己実現 夢をもつことや職業調べなどの固定的な活動だけにしないようにする。	○代表委員会 全校児童の意向を反映し、学校生活をより向上発展させるために自発的、自治的に行われるようにする。 ○各種委員会 児童の発意を生かし、創意工夫して実際の活動を分担し、活動を展開していく。 ○児童集会 計画及び運営において、児童の自発的、自治的な活動として行われるようにする。	学年や学級が異なる児童が互いに協力し、信頼し支えあおうとする人間関係を築くことができるようにするとともに、児童の興味・関心にかかわるよさや可能性について、多様な他者との人間的な触れ合いの中で認め合うことができるようにする。	全校又は学年という大きな集団の特質をよく理解し、児童が各種の学校行事に積極的に参加できるようにしたり、役割を担ってその責任を果たすことでできるようにしたり、共に喜びや苦労を分かち合いながら目標を成し遂げることができるようになり、望ましい体験的な活動が展開できるようにする。
主な指導内容	(1)学級や学校における生活づくりへの参画 ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決 イ 学級内の組織づくりや役割の自覚 ウ 学校における多様な集団の生活の向上 (2)日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア 基本的な生活習慣の形成 イ よりよい人間関係の形成 ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 エ 食育の観点から踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成 (3)一人一人のキャリア形成と自己実現 ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解 ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用	(1)代表委員会 ・第4・5・6学年の各学級から2.3名ずつの代表委員を選出。 ・委員長1名、副委員長2名、書記2名を選出。 ・主な活動は、「一年生を迎える会」「西小松川祭り」「六年生を送る会」など。 ・代表委員会ニュースの発行 (2)委員会活動 ・児童の希望を尊重し、所属を決定。(活動は通年制) ・活動記録を作成し、毎時間、学期毎に振り返りをする。 ・委員会では、集会・保健・飼育・放送・運動・給食・文化・図書・代表とする。 ・各委員会には、委員長1名、副委員長2名、記録2名をおく。 (3)児童集会活動 ・全校児童を対象、児童会主催で行われる活動とし、主体的で創意工夫を生かした活動とする。 ・司会は集委員会が担当する。 (4)兄弟学年班活動 1・6年生、2・5年生、3・4年生のペア学年である兄弟学年班を編成し、異学年交流をする。	(1)クラブの計画や運営 ・対象学年・4・5・6年生 ・クラブ成立の基準:3年以上の児童がいる。 ・構成員数が10名以上である。 ・前年度の終わりに、児童から設置希望を取り、児童の願いを生かしたクラブを設置できるようにする。また、児童の希望を生かして所属できるようにする。 ・クラブ長1名、副クラブ長2名、記録2名を選出。 ・活動時間:50分、着替着・片づけ:10分 ・活動は、通年制とし、活動記録の作成をする。 ・毎時間、学期毎に振り返りをする。 ・クラブ見学(3年)を行う。 (2)クラブを楽しむ活動 パソコン、科学、造形・イラスト、スポーツ、卓球、料理・手芸、ダンス、バドミントン、室内ゲーム、のびっくクラブを設置。 (3)クラブの成果の発表 ・3学期に集会発表または掲示発表でどのクラブも成果を発表する。	(1)儀式的行事 ・入学式、卒業式、始業式、終業式、修了式 (2)文化的行事 ・鑑賞教室、学芸会、展覧会、音楽会 (3)健康安全・体育的行事 ・健康診断、交通安全教室、避難訓練、セーフティー教室、スクーター教室、運動会 (4)遠足・集団宿泊的行事 ・全校遠足、セカンドスクール (5)勤労生産、奉仕的行事 ・中央地域まつりバレー参加
各教科・読書科	○各教科等の指導で身に付けた言葉の確に理解したり表現したりする能力、互いの立場や考えを尊重し合う能力、要約して記録する能力などを実践的に活用したり、向上させたりする。特に、学級活動の話し合いなどは、国語科の学習内容との連携を図って指導する。 ○「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」及び「食育の観点から踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」は体育科や家庭科など、「主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用」は国語科や読書科との連携を図って指導する。	各教科で身に付けた能力などを、児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりのためによりよく活用できるようにしたり、児童会活動で身に付けた自発的、実践的な態度などを各教科等の自発的な学習に生かしたりできるようにする。	各教科の学習を中心として行われる様々な教育活動の中で、一人一人の児童の自主的な活動が促され、それぞれの児童が自己の特性を生かしながら学級や学校の生活を送ることができるようになるとともに、クラブ活動を通して身に付けた様々な技能や態度が、他の教育活動においても生かされるようにする。	○儀式的行事:学校や地域の事象について学習したことをもとに、学校や地域の一員としての自覚を高めるようにする。 ○文化的行事:図画工作や音楽などの学習の成果を発表し交流し合うことで、学習の向上及び意欲を高める。 ○健康安全・体育的行事:体育の学習成果を発表し、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度を育成する。 ○遠足・集団宿泊的行事:社会や理科、生活などの学習を生かして、自然や文化に親しみ、集団生活や公衆道徳について望ましい体験を積む。
他	道徳	外国語活動・外国語科	総合的な学習の時間	家庭や地域との連携
他	低学年では仲良く助け合い学級生活を楽しくすること、中学年では友達と協力し合って楽しい学校生活をつくること、高学年では信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活をつくらうことを重視する。	外国語活動の特質を生かして、友達とのかわわりを大切にしたい体験的なコミュニケーション活動を効果的に展開できるようにする。	児童が自主的あるいは主体的に物事に取り組む態度を養うことを目標としている点に共通性がある。また、各種のグループや異年齢集団での活動や、体験活動重視している点、幼児、高齢者、障害のある人々などとの触れ合いを大切にする点にも共通性がある。その点を踏まえた上で関連を図った指導を行うことが重要である。	学級活動における楽しく豊かな学級や学校の生活づくりや健全な生活態度を育成する活動、キャリア形成のための活動を効果的に展開すること、個々の家庭の状況に配慮し、家庭での指導との連携を図り、地域の人材、施設を活用したりする。特に、家庭生活との関連が深い事項が多いことから、家庭と連携して指導することが大切であるとともに、保護者や家庭などの個人情報やプライバシーなどの問題に十分留意する。
他	下学年は、わがままをしないで自分で行うことは自分でやること、よく考えて行動し、節度のある生活をするを、上学年では、立場に対しても思いやり的心をもち、相手のためにあって親切にすること、身近な集団に参入して自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。	外国語活動で学んだコミュニケーションの場面や動きに配慮した体験的なコミュニケーション活動の成果を生かすようにする。	総合的な学習の時間での問題解決のプロセスや友達同士の学び合いなどを、学校の諸問題の解決や、児童集会の企画・運営などに生かせるようにする。	児童会活動においては、代表委員やにしこメイト(6年)を中心として、あいさつ運動に力を入れていく。あいさつは心と心を通る第一歩であることから、大きく明るい声であいさつすることで、自分だけでなく周囲を明るく気持ちよくさせることを実感させる。校門でのあいさつ運動は、代表委員会が各学期1回ずつ取り組むことにより、家庭や地域にも気持ちよくあいさつが連鎖するような活動にしている。
他	クラブ活動においては、クラブの計画や運営、クラブを楽しむ活動、クラブの成果を発表する活動など、異なる学年や学級の児童により、共通の興味・関心を追究する活動が行われる。異年齢の交流を深め、協力で共通の興味・関心を追究する自発的、自治的なクラブ活動は、異年齢による望ましい人間関係の形成や個性の伸長、よりよいクラブ活動づくりに参画する態度などにかかわる道徳性を身に付けることができる。	「相手との関係を円滑にする」、「事実を伝える」、「考えや意図を伝える」、「相手の行動を促す」などの学習体験を生かす。	総合的な学習の時間での学んだ問題解決のプロセスにおける創意工夫や、クラブ活動における多様な展開に生かせるようにする。	児童の興味・関心を基本としながら、低学年からのパソコンの授業の経験から進んで、特にパソコンクラブでは外部講師等の教育力を活用するなど、児童の実態や特性を考慮した活動を促す。
他	儀式行事では、礼儀正しく真心をもって行動すること、みんなで協力し合いよりよい校風をつくること、郷土や国を愛する心をもつことを、文化的行事では、美しいものや気高いものに感動する心をもつこと、健康安全・体育的行事では、健康や安全に気をつけ、生命あるものを大切にすること、遠足・集団宿泊的行事では、自然環境を大切にすること、勤労生産・奉仕的行事では、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことを重視する。	外国語活動・外国語科で身に付けた力や我が国の文化に対する理解を深め、世界の人々と相互の立場を尊重、協調しながら交流しようとする態度を諸行事に生かす。	総合的な学習の時間の環境や自然を課題とした問題の解決や探究活動として行われる体験活動と、遠足・宿泊的行事との関連や総合的な学習の時間に行われる社会とのかかわりや考える学習活動としての体験活動と勤労の尊厳や生産の喜びを体得し、社会奉仕の精神を養う体験を行う勤労生産奉仕的行事との関連を重視する。	児童の登下校時の安全を確保するため、学校では防犯教室、交通安全教室の開催、地域安全点検、防犯パトロール等を実施するとともに、家庭、地域社会、ボランティア等の協力を得て交通安全指導及び防犯パトロールを推進する。
備考				